

衆議院科学技術・イノベーション推進特別委員会ニュース

平成 30.11.29 第 197 回国会第 3 号

11 月 29 日（木）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 科学技術、イノベーション推進の総合的な対策に関する件

- ・平井国務大臣（科学技術政策、宇宙政策、知的財産戦略及び情報通信技術（IT）政策担当）及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

井林辰憲君（自民）

- ・理系人材が不足していると言われていたが、人材の供給源である大学の理系学生の学生数の推移及び全学生数に占める割合について伺いたい。また、博士課程の入学数数の推移と日本人の修士課程からの進学者及び社会人経験者の進学者の割合について伺いたい。
- ・理系人材の育成は様々な分野にまたがり、科学技術政策の総合調整を担う内閣府の役割は重要であると考えているが、理系人材の育成における問題点とそれに対する取組について平井大臣の所見を伺いたい。

古屋範子君（公明）

- ・若手研究者が希望を持てるような人材育成の取組が重要と考えるが、若手研究者の活躍促進やその育成、そして大学改革の方向性について平井大臣の所見を伺いたい。
- ・今後の高齢化社会においては、地域の見守りに IT を活用することが重要であると考えているが、政府の体制について平井大臣の所見を伺いたい。

櫻井周君（立憲）

- ・東京電力福島第一原子力発電所の廃止措置問題の解決や再生可能エネルギーの拡大など、社会的政策的ニーズに伴って生み出していくべきイノベーションについては、政府のリーダーシップが必要であると考えているが平井大臣の見解を伺いたい。
- ・大学改革や若手研究者の活躍促進などは重要であるが、大学のガバナンスの在り方などイノベーションを起こすための基礎研究の進め方について平井大臣の見解を伺いたい。
- ・「知的財産戦略ビジョン」にあるように、知的財産を生み出す攻めの観点も重要であるが、どのように守るかという観点も重要であり、平井大臣の見解を伺いたい。

高井崇志君（立憲）

- ・シェアリングエコノミーの実現は社会の仕組みの変革そのものであり、大きなメリットもあると考えるが、シェアリングエコノミーに対する平井大臣の見解を伺いたい。
- ・eスポーツの更なる普及拡大のためには、事業者に多額の供託金の供託を求める資金決済法を改正する必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。

青山大人君（国民）

- ・11 月 21 日の本委員会における平井大臣の発言の中で、宇宙政策は宇宙基本計画に基づき取り組むとあったが、宇宙政策について改めて平井大臣の決意を伺いたい。
- ・国民にもっと宇宙政策や宇宙関連の研究開発の重要性を周知し、世論を喚起していくことが必要だと考えるが、平井大臣の見解を伺いたい。
- ・2020 年度から小学校においてプログラミング教育が必修となり、小学校教員の事務の増加が懸念されることから、外部の専門的人材を積極的に活用すべきだと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・教員免許更新制の導入により、免許の更新には講習の受講が求められるが、同講習に係る費用負担の在り方について文部科学省の見解を伺いたい。

田嶋要君（無会）

- ・我が国の科学技術が世界に比して周回遅れに陥りやすい現状について、根本的原因の解明と対策の実施を平井大臣の下で実行すべきだと考えるが、同大臣の見解を伺いたい。
- ・世界最高水準の IT 利活用社会の実現に向けて、エストニアのような選挙におけるインターネット投票制度を我が国においても実現すべきであると考えているが、平井大臣の見解を伺いたい。

畑野君枝君（共産）

- ・我が国の科学技術の基盤的な力の弱体化は、「選択と集中」による過度な研究資金獲得競争が原因であると考えているが、平井大臣の科学技術の現状に対する認識を伺いたい。
- ・若手研究者が活躍できる場を確保するために、国立大学法人運営費交付金の増額と安定的な研究環境の確保を平井大臣がバックアップして行うことが必要であると考えているが、同大臣の見解を伺いたい。

井上英孝君（維新）

- ・大阪で開催される2025年国際博覧会の成功に向けて、科学技術イノベーション政策を更に加速させる取組が必要であると考えているが、平井大臣の見解を伺いたい。
- ・準天頂衛星システム「みちびき」について、受信機の小型化や低価格化の取組及び様々な分野への利用の拡大や促進に向けた平井大臣の決意を伺いたい。